

こどもと関わるってこんなに楽しい！

～ 小中学生・高校・大学生に関心をもってほしいこと ～

社会の中で育ちあう未来の大人たちこそ今、
子どもと関わる"本当のおもしろさ"や人が育つ現場のリアルな姿を知ることが大切です。
子どもが見る世界を知ること、人との関係や自分自身の将来像、
家族を持つことや社会で生きることを考えるきっかけになります。



1. 今の自分が『こども』の頃に立ち返るということ

保育園や幼稚園、小学校に入ったばかりのころ。
あの頃、自分が何に夢中になりどんな時間を過ごしていたのでしょうか。



地面がすぐそこにあって、小さな草花やアリ、ダンゴムシの動きを観察したり、
見上げた空には飛行機や鳥が飛んでいてそれだけでワクワクしていたことを思い出すかもしれません。
楽しいこと、好きなことに夢中になる時間がある一方で、
自分の気持ちをうまく言葉に出来ず、不安や戸惑いを感じることもあったと思います。

子どもが育つということは、単に大人になるということではありません。
子どもだった自分に心を寄せながら、いま目の前にいる子どもたちにとって本当に必要なこと、
大切にしたいことに耳を傾け共に過ごすこと。その積み重ねが子どもの育ちに繋がっていくのだと思います。

2. 「家族とのつながり」「親になること」イメージを深めていくこと

小さな存在と向き合う中で、家族とのつながりや親になるということの意味が深まってきます。
現代社会において、幼い子どもと直接かかわる機会が少なくなりつつある今だからこそ
意識的にそのような関わりのもち、家族の意味を深めたり、
将来「親になるということ」のイメージをしていくことが大切です。

まだ言葉にうまくできない子どもの表情やしぐさに寄り添う中で
子どもの気持ちを感じ取り、自分の関わり方を考えてみる・・・。
それが人とのつながりの中で育まれる力になります。

家族での何気ないやりとりや親子のふれあいの中から
「生きる力を育てていくプロセス」に向き合うことで
体験することの意味や家族、社会とのつながりの大切さを学んでいくことが出来ます。



3. 保育士という仕事の魅力を知ろう

子どもに関わる“未来人材”を社会全体で育むために保育士という仕事を見てみよう。

小学生のみなさんへ

みんなのまわりにいる保育園や幼稚園・こども園の
せんせいたちはいっしょにあそんでくれたり、
こまったときにたすけてくれたりする
たよりになる人たちです。
でもね、せんせいたちは
ただ子どもたちを見ているだけではないんだよ。

いっしょにあそんだり、おはなしをする中で、
ひとりひとりが何にむちゅうになってワクワクしているか、
何にこまっているのかをみきわめて、
その子にあったかかわりをするおしごとです。

人がつくられる一番だいじなじきのサポーターなんだ！

中学生のみなさんへ

保育士は小さなこどもたちと毎日ふれあいながら
笑ったり、泣いたり、悩んだりして
一緒に学び合い成長していく職業です。

子どもの気持ちを代弁して寄り添ったり
安心できる空間をつくったりする中で自分自身も
「人を思いやる心」や「伝える力」が育っていきます。

人との関わりが好きな人や人の成長を心から喜び合える…
それが保育士です。

高校生のみなさんへ

保育士は子どもの命と成長に深く関わり合う
責任のある職業です。

子どもの気持ちをくみ取りながら、どう声をかけたら
安心できるか、どんな環境なら意欲を引き出せるかを考え、
日々の関わりを通じて信頼関係を築いていきます。

子どもたちの姿から学ぶことも多く、
自分自身も人として成長していける魅力的な職業です。

大学生のみなさんへ

保育士は子どもの発達や感情を理解し、
その成長をサポートする専門職です。

子ども・保護者・地域とつながりながら
子どもの取り巻く環境全体を把握し、
広い知識と柔軟な対応力が求められます。

また多様な背景を持つ子どもや家庭と向き合う中で、
社会への理解や人間関係のスキルも深まっています。

保育士は未来を育てる一。
社会的に意味のある職業です。

アクセスはこちら



一般社団法人

こどもの未来につながる働き方研究機構

小中学校・高校・大学向け研修 ～ 現役保育士による出前授業 ～

- 〈対象〉 児童・学生
〈内容〉 ・子どもの視点で世界を見てみよう
・保育士という仕事を見てみよう
・親子の関わりについて考えてみよう など



一般社団法人
こどもの未来につながる働き方研究機構

こどもの未来につながる働き方とは

子どもと向き合う
保育者 × 子どもを育てる
親 × 未来人材である
子どもたち

「子どもたちにとって今、何が一番大切なのか」を理解し合いながら、
これからの働き方を社会全体で考えていく活動をおこなっています。